

ご自由に!

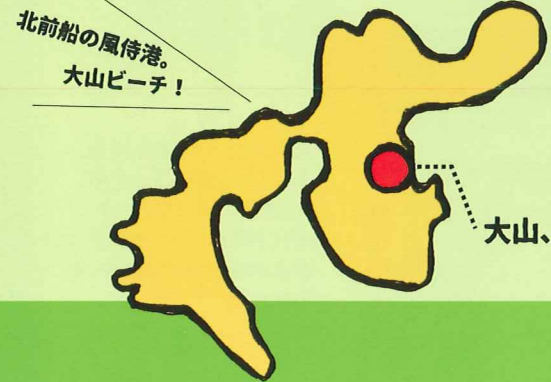
まちあるきマシッ

西ノ島
大山

おお
やま



地図



北前船の風待港。
大山ビーチ!

大山、ココです。

大山出身の偉人

西ノ島町大山地区出身の山本幡男(1908~1954)は、シベリア抑留を経験した日本人の1人で、辺見じゅん著「収容所(ラーゲリ)から来た遺書」で知られています。強制収容所で絶望の状況下でありながら、日本の文化と帰国への希望を広め、日本人俘虜たちの精神的支柱となり続けました。シベリアの地で病死する前、彼は故郷の隠岐への思いを込め、「海鳴り」という詩を残しています。

やまもとはたお
山本幡男



海鳴りの詩の全文は西ノ島ふるさと館に展示されています。

海鳴りの詩

凍てるシベリアに
故郷の海鳴りがきこえる
ろんろん ろんろんと

交通関係

町営バス
08514-6-0014

くにがレンタカー
08514-7-8088

原交通
08514-6-0056

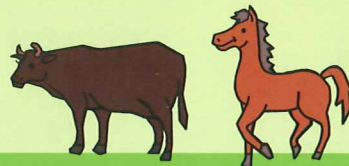
隠岐観光
08514-6-0016

どうまえレンタカー
08514-6-1768

鏡谷タクシー
08514-7-8321

観光案内

西ノ島町観光協会
08514-7-8888
※レンタサイクルあります。



やまもとはたお
山本幡男

記憶に残された遺書

顕彰碑と記念室

1989年に辺見じゅん著「収容所から来た遺書」が出版。山本幡男の絶望に屈しない生き様と、彼の遺書を「記憶」という形で遺族へ届けた収容所の仲間たちの実話を描いています。平成10年に「山本幡男を顕彰する会」が発足され、顕彰碑建立目標額400万円に対し、2倍となる800万円が集まりました。そして、西ノ島の摩天崖に立派な顕彰碑が建立され、西ノ島ふるさと館には山本幡男の記念室が設置されました。

遺書に込められた願い

山本幡男は帰国の夢叶わず収容所内で病に倒れ、死の間際に家族宛の遺書を残しました。遺書の中で自身の子供たちへ向けた文章の一節には、日本及び日本人への祈りや願いが託された言葉も残されています。

「君たちは、これから人生の荒波と闘って生きてゆくのだが、君たちはどんな辛い日があろうとも光輝ある日本民族として生まれたことを感謝することを忘れてはならぬ。日本民族こそは将来、東洋、西洋の文化を融合する唯一の媒介者、東洋のすぐれた道義の文化一人道主義を以って世界文化再建に寄与し得る唯一の民族である。この歴史的使命を片時も忘れてはならぬ。」

山本幡男
顕彰碑：摩天崖入口に設置

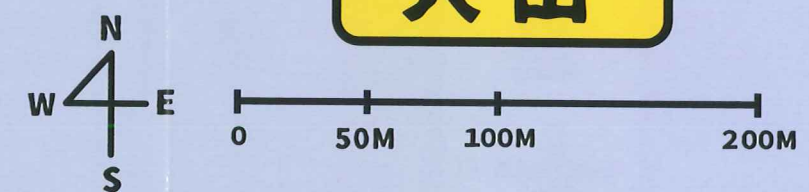


地図

西ノ島

まちあるきマップ

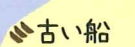
大山



大山地区は背後に焼火山を控え、林道焼火線で波止地区と結ばれています。江戸時代は西ノ島における北前船の代表的な風待港で、問屋や船宿があり、大変賑わっていたといわれています。近年、砂浜が整備され、西ノ島では密かに大山ブームが起きているとかいらないとか…。



岸に並んだ昔の古い船は、もの悲しさのと歴史の風情を感じさせます。



大山地区から焼火神社登山口へと続く道。途中、未舗装の道となるため、焼火神社へ行かれる際は波止地区からの道がおすすです。

別府方面

別府港から大山地区までは眺めの良い海沿いの道を約2km

河口付近は稚魚たちの避難場所!

別府から大山への入口に立つ、小さな鳥居付きのお社。まずはここに参拝すべし?

のどかな田舎道

コンクリートに残されたかわいいねこの足跡。見つけられるかな?

古びた小さなお堂

1 大山の砂浜

大山ビーチから徒歩5分。辿りつくのは、小川のせせらぎが聞こえ、うねり曲がった大木が立つ【渡利神社】です。

わたり 渡利神社

行止まり X

しいたけ栽培地

周辺の杉林を覗きかお、しいたけの原木が組まれた姿が見られます!

山の中へと続く階段。今はもう使われていないようです。

お堂の隣には、大山出身で愛媛の南光坊中興の祖・天野快道大僧正の墓があります。大正7年には真言宗醍醐派管長に選ばれ、京都醍醐寺の座主も務めた高僧でした。

2 お墓

別府港から大山バス停まで車で5分、自転車で10分

バス停 (大山)

車OKの広い道

大山観音堂

1 大山の砂浜

賑やかで楽しい外浜(船越地区)に対し、大山の浜は静かで落ち着いた砂浜です。海を眺めながらのんびり、ゆったり過ごしたい、海で静かに物思いにふけりたい、そんなあなたには大山へ。

2 お墓の入り口にある立派な墓碑

お墓の入口には2つの墓碑を見ることが出来ます。「成田浅次郎先生」は開学の頃の師で、大山で寺子屋を開いていました。「火獄友一郎」は大山を代表する立派な力士であったといわれています。

3 石英閃長岩を流れる滝

たくひ 林道焼火線を登った先、ダムを過ぎた所に岩肌を流れる小さな滝が姿を見せます。この岩は石英閃長岩といい、島前火山かできる直前のマグマ活動の記録です。

住宅地の細道の先にある大山観音堂。そのさらに先に立つ鳥居を通ると小規模なお社が姿を見せます。知らないで絶対に素通りしてしまう場所です。

焼火神社の鳥居

3 林道焼火線